

令和3年度S I P第2期臨時課題評価の考え方について（案）

令和3年6月24日
ガバニングボード決定

1. 臨時課題評価WGの実施について

「令和2年度S I P第2期課題評価結果への対応について」（令和3年2月25日のガバニングボード決定）の決定に基づき、令和2年度S I P第2期課題評価結果で「A」より低い評価を受けた以下の1課題についての再評価とともに、令和3年度の未配分予算を財源とする追加配分について審査を行うため、5月10日及び14日に臨時課題評価WGを開催し評価を実施した。

表1：再評価対象課題

課題名	プログラムディレクター
IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ	後藤PD

2. 再評価の考え方について

令和2年度課題評価における評価基準、評価項目との整合性及び継続性を確保するため、同年度課題評価における審査の視点に基づき、改めて評価を行った。ただし、令和2年度評価結果の指摘事項への改善状況についても評価をすることとなっていることから、臨時課題評価WGでは、令和2年度評価において当該課題が獲得した点数を基準に採点を行うこととした。

採点の結果、令和2年度課題評価における「A」評価の基準点である173.5点以上に達した場合、改善の取組が進んでいると認められるため、本臨時課題評価WG後に行うガバニングボードにおいて、原則として留保した10%の予算の配分を決定することとする。

本課題は、令和2年度S I P第2期課題評価WGにおいて「社会実装のための体制構築が検討されているものの、不十分であり、ユーザーの巻き込み、運用側の体制構築が急務である。」との指摘があることから、今回令和2年度評価結果の指摘事項への改善が確認された場合には、「A-5 最終年度達成の見込み」、「A-6 社会実装見込み」、「A-7 知財・標準戦略」、「B-2 社会実装マネジメント体制」、「B-3 テーマのマネジメント」、「B-9 その他マネジメント」の項目について、改めて審査を行い、前回評価を1段階上げる等の必要な加算を行うことが望ましい。また、その他の項目についても特に評価を向上させたい場合は、記載す

ることを可能とした。

3. 追加配分の審査の考え方について

令和3年度当初予算において留保してきた予算について、当初計画に加え、課題との整合性、研究開発の加速・拡大と社会実装、新型コロナウイルス対応に資するか(関係がある案件のみ)について、追加配分することが適当であるか否か、臨時課題評価WGにおいて審査を行い、採択の可否について判定を行った。

最終的に、採択の可否の判定において、「A+」、「A」、「B+」判定の得票率の合計が「C」判定の得票率を上回る場合に「採用」することとする。

また、「採用」することとなった案件について、採択の可否の判定における最多得票率となる判定結果を比較し、追加配分案件の優先順位を定める。その際、最多得票率となる判定結果が同一となる課題があった場合、それら課題の2番目の得票率の判定同士を比較し、より上位の判定結果の得票率が多かった課題の順位を高いものとする。順位判定後、留保している予算の総額と追加配分案件ごとの要望額を確認し、それぞれの追加配分案件に対する配分額をガバニングボードにおいて決定する。

表2：臨時課題評価WGにおける追加配分審査の視点

採否判定	判定結果	
採択の可否	A+	最も優先的に追加配分すべきである
	A	優先的に追加配分すべきである
	B+	追加配分すべきである
	B	追加配分することを妨げない
	C	追加配分すべきではない
審査の視点	評価基準	
1. 追加配分と課題との整合性について	十分整合している	
	概ね整合している	
	整合していない	
2. 研究開発の加速・拡大について	非常に期待できる	
	期待できる	
	期待できない	
3. 課題間連携の促進について (関係がある場合のみ)	非常に効果が期待できる	
	効果が期待できる	
	効果が期待できない	
4. 新型コロナウイルス対応について (海洋のみ)	非常に期待できる	
	期待できる	

	期待できない
--	--------

4. 臨時課題評価WGの採点結果・ランク付け

(1) 再評価課題の採点結果

臨時課題評価WGにおける再評価課題の採点結果とそれによるランク付けは次の通り決定する。

表3：再評価課題の再評点数

課題名	採点結果	ランク付け
IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ	197.9 点	A

表4：ランクと点数の関係

評価	標語	令和2年度評価におけるランク付け (得点率)
S	極めて挑戦的な高度な目標を達成し、実用化・事業化も十分見込まれており、想定を大幅に上回る成果が得られている。	$299 (95\%) \leq S$
AA	適切に設定された目標を大幅に達成しており、実用化・事業化も十分見込まれており、想定以上の成果が得られている。	$268 (85\%) \leq AA < 299 (95\%)$
A+	適切に設定された目標を達成しており、実用化・事業化も十分見込まれるなど、想定以上の成果が得られている。	$236.5 (75\%) \leq A+ < 268 (85\%)$
A	目標の設定・達成ともに概ね適切であるなど、当初予定どおりの成果が得られている。	$173.5 (55\%) \leq A < 236.5 (75\%)$

A-	目標の設定又はその達成状況が十分ではないなど、予定を下回る成果となっている。	$142 (45\%) \leq A- < 173.5 (55\%)$
B+	目標の設定又はその達成状況が極めて不十分で、予定を大幅に下回る成果となっている。	$110 (35\%) \leq B+ < 142 (45\%)$
B	目標の設定、その達成状況その他大きな改善を要する面がみられる。	$B < 110 (35\%)$

(2) 追加配分の採点結果

臨時課題評価WGにおける追加配分施策の採点結果は次の通り決定する。

表5：追加配分案件の採否判定の結果

課題名	案件名	採択の可否判定における 各判定結果の得票率					採否の 判定	優先 順位
		A+	A	B+	B	C		
ビッグデータ・AI を活用したサイバースペース基盤技術	分野間データ連携基盤の連携拡大	38.5%	<u>46.2%</u>	7.7%	7.7%	0%	採用	1
フィジカル空間デジタルデータ処理基盤	サイバー・フィジカル連携による共通エッジ基盤とデータサービス・カタログ構築	7.7%	15.4%	<u>53.8%</u>	30.8%	0%	採用	8
統合型材料開発システムによるマテリアル革命	CoSMIC の社会実装の拡大に向けたソフト、ハード、マニュアルの増強と整備	7.7%	23.1%	<u>46.2%</u>	23.1%	0%	採用	6
光・量子を活用した Society 5.0 実現化技術	社会実装の加速度的波及の検証範囲拡大：脱炭素対応市場への展開	7.7%	<u>46.2%</u>	38.5%	7.7%	0%	採用	4
	DX 時代のセキュリティ強化に向けた高速 qVPN の開発と社会実装の加速	15.4%	30.8%	<u>38.5%</u>	15.4%	0%	採用	5
国家レジリエンス（防災・減災）の強化	発電ダムの利水と治水のシームレスな結合	7.7%	<u>30.8%</u>	<u>30.8%</u>	<u>30.8%</u>	0%	採用	7
	アンサンブル予報を用いた高潮・高波・越波量予報システム	0%	<u>38.5%</u>	23.1%	<u>38.5%</u>	0%	採用	9
革新的深海資源調査技術	新規 6000m 級 AUV 運用に関する民間への技術移転促進のための検収・慣熟航海実施	38.5%	<u>46.2%</u>	7.7%	7.7%	0%	採用	1
	海底設置支援システムの製作	<u>30.8%</u>	<u>30.8%</u>	<u>30.8%</u>	7.7%	0%	採用	3

以上